

ファシリテーション研修 対話型アート鑑賞

@前橋プラザ元気21
前橋市本町2丁目12-1

アートで、心をひらく。
心をひらいて、対話する。

2026
8/22(土)
13時～16時

障がいのある方のアート作品が、
前橋のまちなかのあちこちに展示される「ひらく。」展。
このアート展とコラボして、ファシリテーション研修を企画しました。
「対話型アート鑑賞」という手法で、対話の極意を学びます。
ぜひ、ご参加ください！

「ひらく。」

前橋まちなかアート展

アートで世界をひらき、つなぐ（障がい者アート）

日本ファシリテーション協会
群馬サロン

群馬県社会福祉士会
ファシリテーション推進チーム

参加費無料
どなたでも
参加OK

参加申込フォーム



お問合せ：群馬県社会福祉士会事務局
info@gunma-csw.or.jp

「対話型アート鑑賞」とは

対話型アート鑑賞（対話型鑑賞：VTS）とは、美術の専門知識を使わず、複数人でアート作品を観ながら自由に意見を交わし合う鑑賞法です。知識を学ぶのではなく、「みる・考える・話す・聴く」プロセスを通じて、多角的な視点や思考力を養います。

講師 対話型アート鑑賞
ファシリテーター

藺田浩則 氏

- ・日本ファシリテーション協会
群馬サロン世話人
- ・JEARA（日本アート教育振興会）所属

高橋はる美 氏

- ・日本ファシリテーション協会
群馬サロンメンバー
- ・対話型アート鑑賞ラボ 所属

「ひろく。」展とは

障害のある方のアート表現を促進し、社会的な認知と共感を広げるとともに、障害の有無にかかわらず多くの市民が交流することで多様性を認め合い、誰もが住みやすい地域づくりに貢献することを目的として開催します。

8月1日～30日の期間で、前橋市内の店舗や公共施設に障害者アートを展示し、ワークショップなどを実施します。

アートも。福祉も。ファシリテーションも。
初心者・大歓迎です！

8/22
当日の流れ

- 13:00 チェックイン、オリエンテーション
- 13:30 対話型アート鑑賞（少人数グループで実施）
- 15:00 振り返り（ファシリテーションの学びとして）
- 16:00 チェックアウト

群馬県社会福祉士会では…

対人援助職としてその人の力を引き出して支援することや、人々の力を引き出して社会を変える力にしていけるために、ファシリテーションを学び合う場をつくっています。今回は、会員だけでなく、一般県民の方々とともに、アート鑑賞を通じて多様性について語り合う場を企画しました。

ぜひ、ご参加ください！

参加申込フォーム



【参加対象】群馬県社会福祉士会会員、一般県民

【参加費】無料 / 【定員】20名程度（先着順）

【お申込】左のQRコードからお申込ください。